

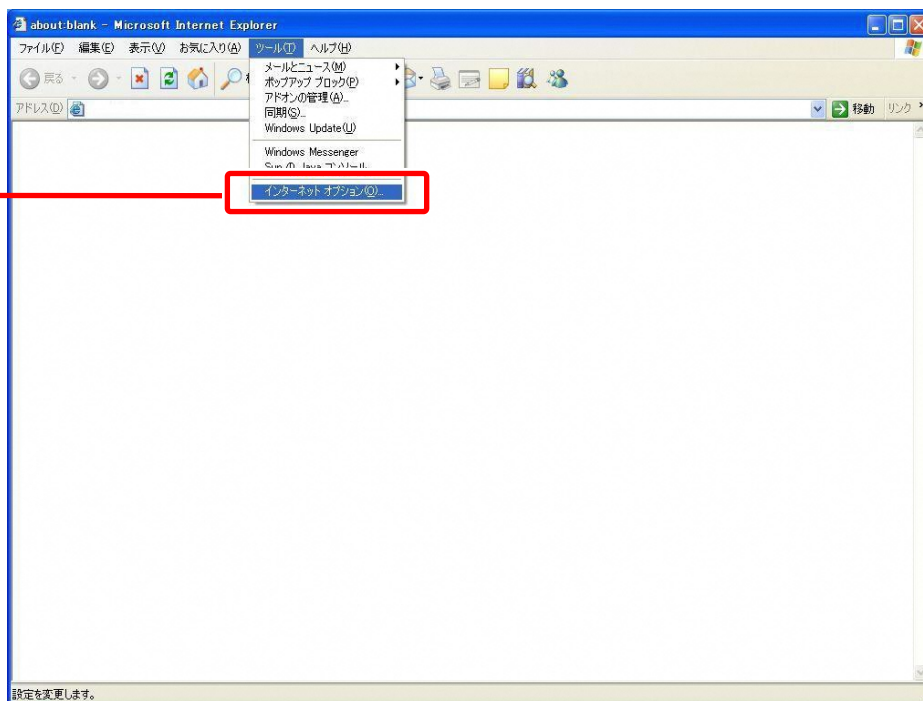
新方式設定手順(パソコンの設定方法について)

1. 信頼済みサイトへの登録

Step 1 Internet Explorer の「ツール (T)」-「インターネット オプション (O)」をクリック する

Step 2 「インターネットオプション」画面が表示される

 「本システムを信頼済みサイトへ登録します」へ進みます



【本システムを信頼済みサイトへ登録します】

Step 1 「セキュリティ」タブをクリックする

Step 2 信頼済みサイトををクリックする

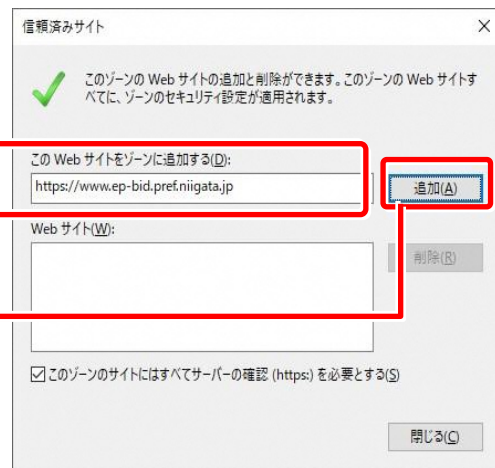
Step 3 サイト(S)ボタンをクリックする

Step 4 「信頼済みサイト」画面が表示される

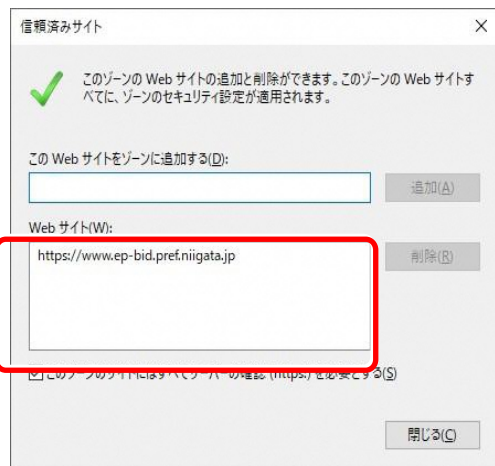


Step 5 次の Web サイトをゾーンに追加する (D) に
「<https://www.ep-bid.pref.niigata.jp>」と入力する

Step 6 追加(A) ボタンをクリックする



Step 7 Webサイト(W)に入力した URLが表示される



Step 8

「Step 5」と同様に
「 <https://www.ep-bis.pref.niigata.jp> 」と
入力し、「Step 6」～「Step 7」を繰り返す

信頼済みサイト

このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトすべてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。

この Web サイトをゾーンに追加する(D):

追加(A)

Web サイト(W):

削除(R)

☒ このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https) を必要とする(S)

閉じる(C)

Step 9

「閉じる」ボタンをクリックする

信頼済みサイト

このゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。このゾーンの Web サイトすべてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。

この Web サイトをゾーンに追加する(D):

追加(A)

Web サイト(W):

削除(R)

☒ このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https) を必要とする(S)

閉じる(C)

Step 10

「インターネットオプション」画面が表示される



「信頼済みサイトのセキュリティレベルを確認します」へ進みます

【信頼済みサイトのセキュリティレベルを確認します】

Step 1 「このゾーンのセキュリティのレベル (L)」を確認する

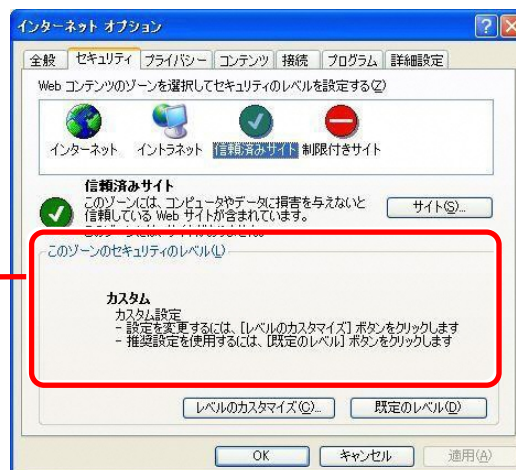


レベルが「低」の場合

ここで設定終了です。

レベルが「低」以外の場合

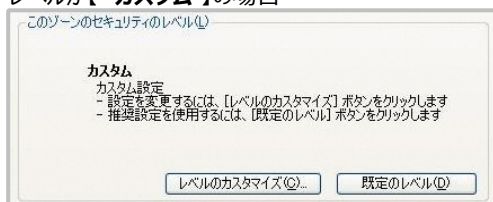
下記の注意をよく読み、「信頼済みサイトのセキュリティレベルを設定します」へ進みます。



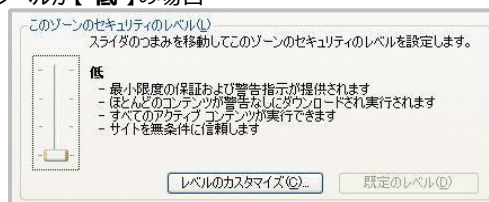
注意

セキュリティレベルが「カスタム」になっている場合は、他のシステムを使用するために設定が変更されている可能性があります。セキュリティレベルの設定変更を行っても問題がないか確認してください。変更ができない場合は、別に専用のパソコンを準備するなどの対策をお願いします。

レベルが【カスタム】の場合



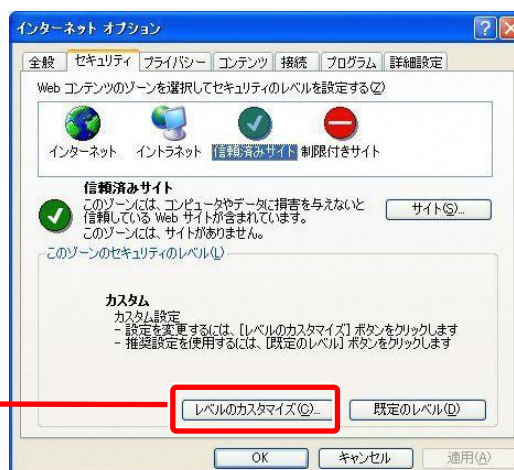
レベルが【低】の場合



【信頼済みサイトのセキュリティレベルを設定します】

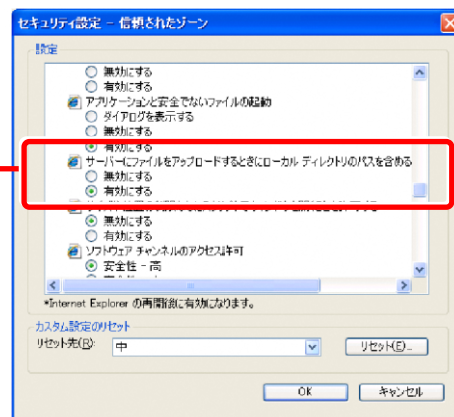
Step 1 レベルのカスタマイズ(C)ボタンをクリックする

Step 2 「セキュリティの設定」画面が表示される



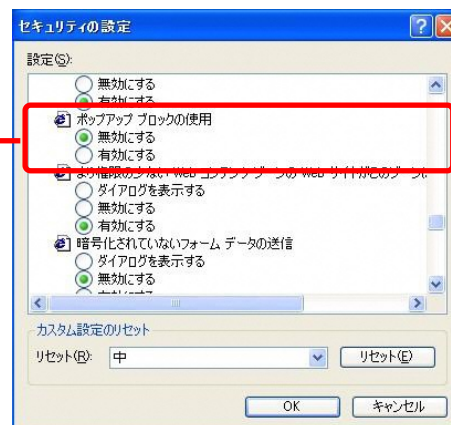
Step 3

「サーバーにファイルをアップロードするときローカルディレクトリのパスを含める」を「有効にする」に設定する



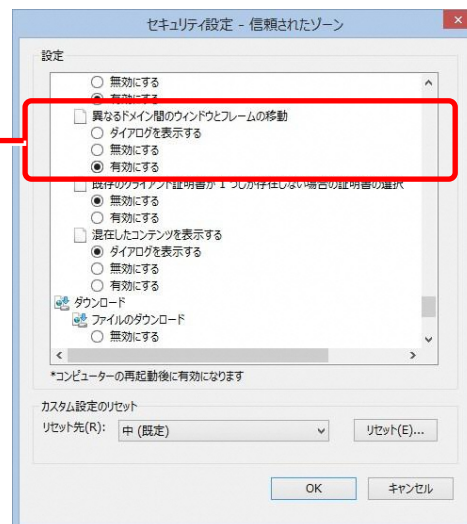
Step 4

「ポップアップ ブロックの使用」を「無効にする」に設定する

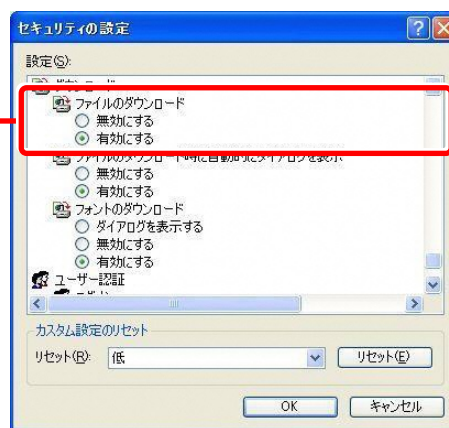


Step 5

「異なるドメイン間のウィンドウとフレームの移動」を「有効にする」を設定する



Step 6 「ファイルのダウンロード」を「有効にする」に設定する

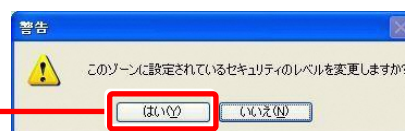


ワンポイント

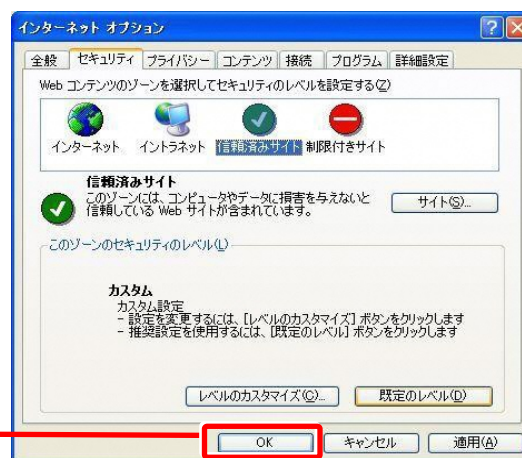
Step 3～Step 6の項目がない場合があります。
その場合は設定を行う必要はありません。

Step 7 「このゾーンに設定されているセキュリティのレベルを変更しますか？」画面が表示される

Step 8 はい(Y)ボタンをクリックする



Step 9 「インターネットオプション」画面に戻るので、OK ボタンをクリックする



SOS

お困りのときは

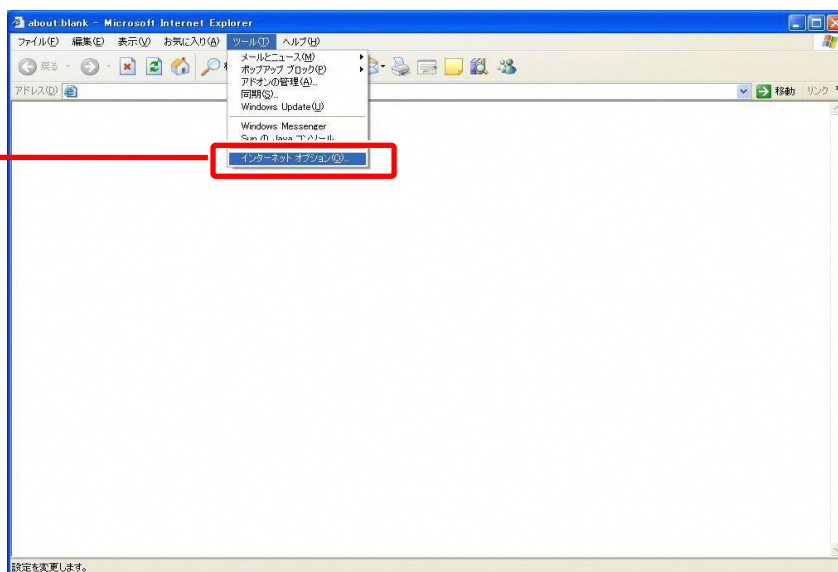
信頼済みサイトの設定をしてもシステムが正常に動作しない場合

ご利用のパソコンの Internet Explorer に、機能拡張ソフトウェア（例：Yahoo ツールバー、Google ツールバー、MSN ツールバーなど）が組み込まれている可能性があります。この場合は 2. サードパーティ製のブラウザ拡張を無効にする を参照し、サードパーティ製のブラウザ拡張を無効にしてください。

2. サードパーティ製のブラウザ拡張を無効にする

Step 1 Internet Explorer の
[ツール(T)]-[インターネット
オプション(O)]をクリック
してください。

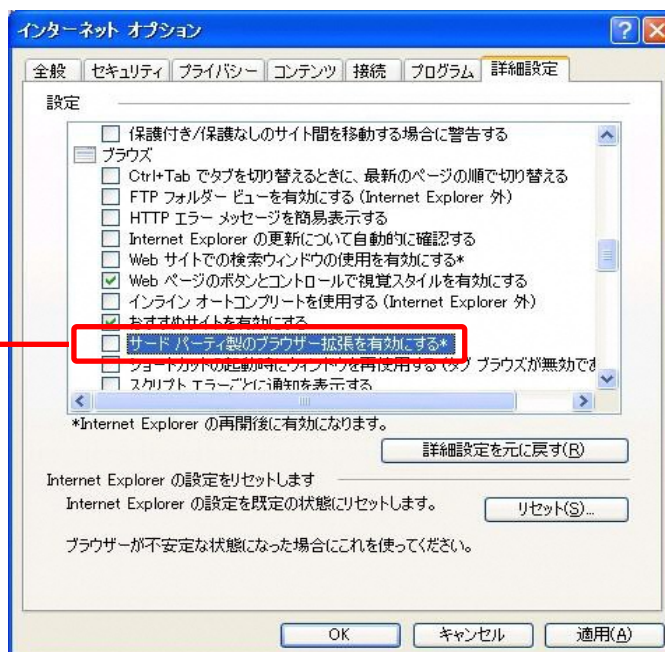
Step 2 [インターネットオプション]
画面が表示されるのを確認してくだ
さい。



Step 3 [詳細設定]タブ-[ブラウズ]-[サ
ードパーティ製のブラウザ拡張を有
効にする]のチェックを外し、無効
に設定してください。

Step 4 設定完了後、[OK]をクリックし、
画面を閉じてください。

Step 5 全ての Internet Explorer を×
ボタンで閉じてください。



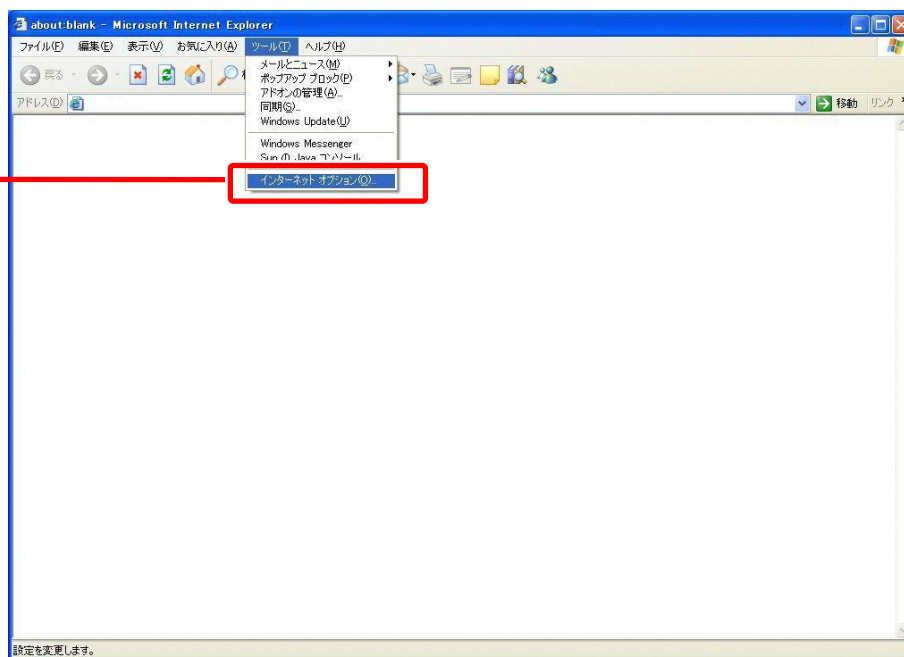
ワンポイント

端末によっては、設定項目が「サードパーティ製のブラウザ拡張を有効にする」ではなく、「Enable third-party browser extensions」と表示されている場合があります。

3. TLS1.2 を有効にする

Step1 Internet Explorer の
[ツール(T)]-[インターネット
オプション(O)]をクリックして
ください。

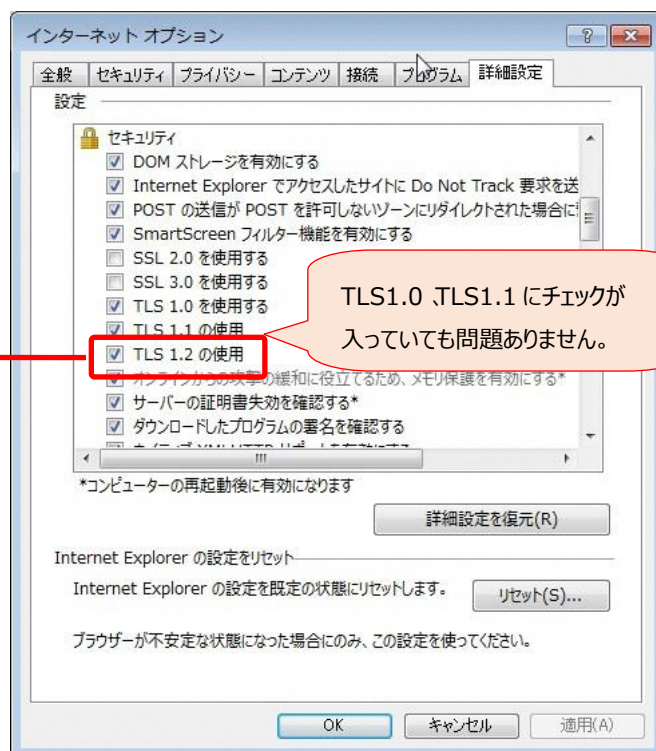
Step2 [インターネットオプション]
画面が表示されるのを確認して
ください。



Step3 [詳細設定]タブ-[セキュリティ]-
[TLS1.2の使用]のチェックを
つけ、有効に設定してください。

Step4 設定完了後、[OK]をクリックし、
画面を閉じてください

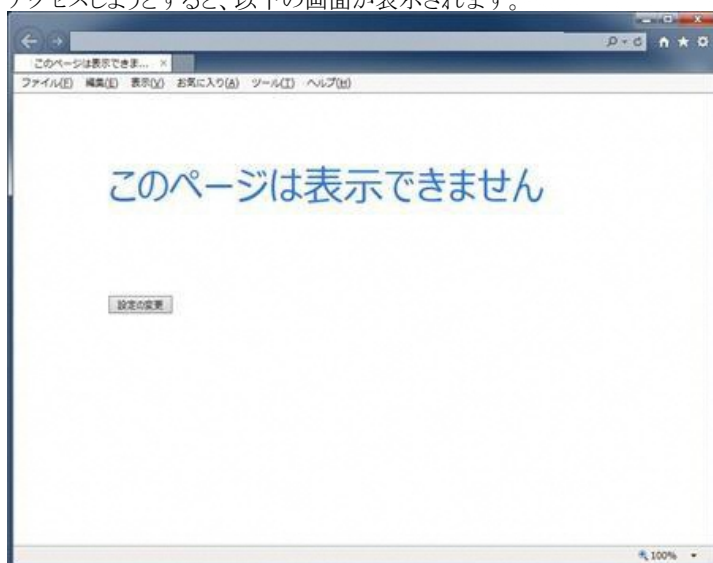
Step5 全ての Internet Explorer を×
ボタンで閉じてください。





注意

TLS1.2 を「使用しない」設定になっている場合は、電子調達システムにアクセスができなくなります。アクセスしようとすると、以下の画面が表示されます。



4. ネイティブ XMLHTTP サポートを有効にする

Step 1 Internet Explorerの
[ツール (T)]-[インター
ネット オプション (O)]
をクリックしてくださ
い。

Step 2 [インターネットオブ
ション]画面が表示され
るのを確認してくださ
い。

Step 3 [詳細設定]タブ-[セキュリティ]-[ネ
イティブ XMLHTTPサポートを有効
にする]にチェックを入れてくださ
い。

Step4 設定完了後、[OK]をクリックし、
画面を閉じてください。

Step5 全ての Internet Explorer を×
ボタンで閉じてください。

